

## 笑顔かがやく

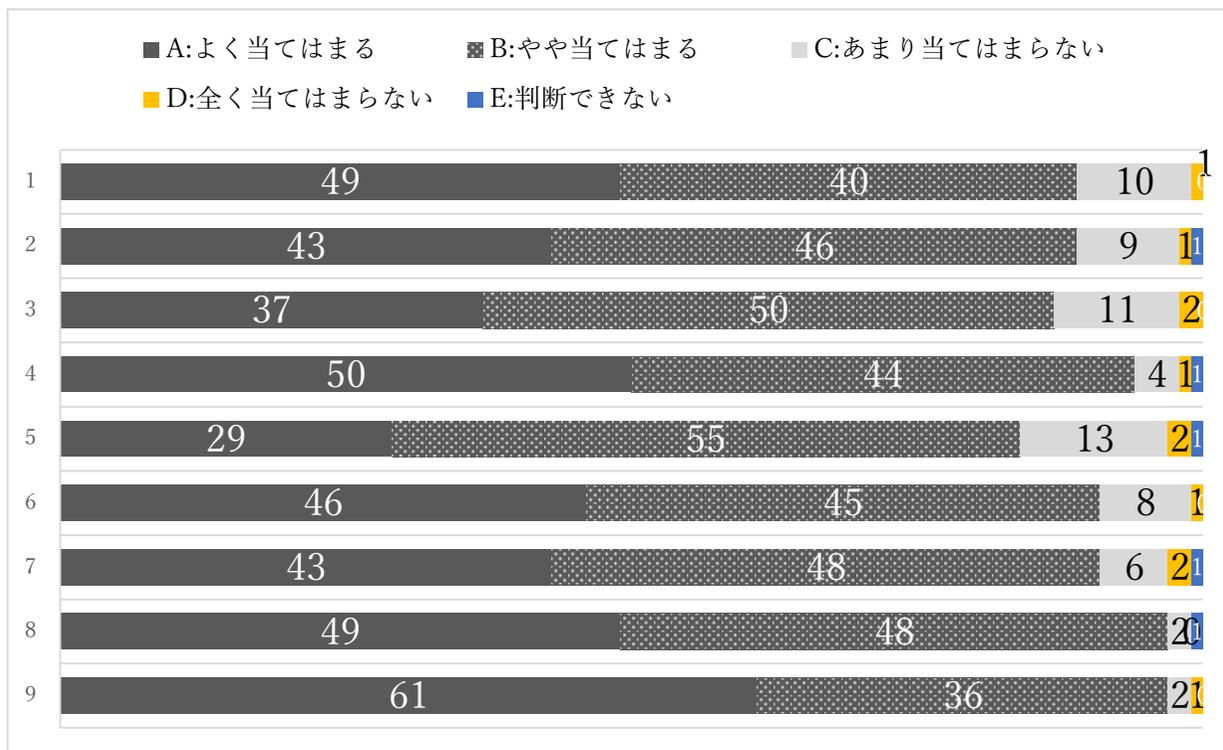
芦屋市立山手小学校長 井岡 祥一

## 令和5年度学校評価保護者アンケート集計結果

令和5年12月18日付で家庭数配布した保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございました。ご回答いただきましたアンケートは318になり、回収率は52.0%でした。お忙しい中、ご回答ありがとうございました。

No.	項目
1	学校は、子どもにとって楽しみなところである
2	学校は、子どもにとって楽しく分かりやすい授業になるように努めている
3	学校は、子どもの間違った行動を適切に指導している
4	学校は、子どもたちの良い点を見つけて指導している
5	学校は、「いじめのない学校づくり」に努めている
6	学校は、命を大切に作る心や思いやりの心を指導している
7	学校は、たがいに人権を認め合える指導をしている
8	家庭では、子どもの挨拶やマナー、間違った行動について適切に指導している
9	家庭では、子どもとの触れ合いや会話する時間を持っている
10	お気づきの点があれば、お書きください

今回の保護者アンケートの集計結果は、次の通りです。



## ◆来年度へ向けて（アンケート結果を受けて）

◆A（よく当てはまる）B（やや当てはまる）の合計の割合が90%以上の結果となったのは、9項目中5項目でした。その中の2項目は家庭に関する内容です。これからも、引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。残りの3項目は、④の「学校は、子どもの良い点を見つけて指導している 94%」、⑥の「学校は、命を大切にする心や思いやりの心を指導している 91%」、⑦の「学校は、互いに人権を認め合える指導をしている 91%」でした。昨年度に比べると、90%以上の項目は増えているのですが、昨年度、90%を超えていた、①の「学校は、子どもにとって楽しみなところである」が、89%と減少していることを深く受け止め、今年度、90%を超えた項目④⑥⑦をさらに充実させていくとともに、⑤の「学校は、『いじめのない学校づくり』に努めている 84%」をさらに高めながら、学校や学年、学級の中に自分の居場所があると感じることができる環境づくりに努めてまいります。学校教育目標「えがお☆かがやく」は、最近よく耳にする「well-being（ウェルビーイング）」であると考えます。子どもたちの幸せのため、様々な教育活動において、「相手意識」をしっかり持ち、子どもたち同士、教師と子どもたちが互いに「相手のことを考える」心のあり方を大切にし取り組んでまいります。

◆今年度は、80%を下回る項目はありませんでしたが、項目②③は、授業や道徳（モラル）に関する、大切な内容です。これらの項目についても、さらに高めていくべく、取り組んでまいります。また、先にも述べました、項目⑤「いじめのない学校づくり」については、より意識を高め取り組みを進める必要があります。そのためには、「相手のことを考える」心のあり方（利他的な働き）を基盤とし、お互いが「相手のためになることかどうか」を常に考えた行動をすることで、いじめの未然防止に努め、「だれもが安心して過ごせる学校」にしてまいります。今後も、「相手のことを考える」をキーワードにしながら、ご家庭、学校、ともに同じベクトルで取り組んでまいりたいと思っています。

◆自由記述でいただいたご意見につきまして、良い評価をいただいた点についてはさらに伸ばしていき、厳しい評価をいただいた点については、私たち教職員が指導方法等を振り返り、子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送れ、充実した教育活動が行えるよう今後の実践に繋げてまいります。

特に、項目1・3・4・5・6にかかる内容について、ご指摘をいただきました。この項目で特に大切なことは、アサーティブコミュニケーションと考えています。一方的な言葉かけや指導ではなく、「相手のことを考え」相手を尊重しながら、どうすることが正しいのかを「考えさせ、判断・決定させる」ことを大切にし、対応することが必要です。これらのことを次年度の学校教育目標にも落とし込み、学校全体で、ベクトルを合わせ、教育活動に取り組んでまいります。また、学校・家庭・地域とも同じベクトルで子どもたちを育てていけるよう取り組んでまいります。

◆この1年間山手小学校の教育活動に対し、多くのご理解ご支援をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

皆さまから頂いたご意見を謙虚に受けて止め、来年度の教育活動に生かしてまいります。ありがとうございました。